

●指定管理者業務評価シート(4年目評価)

施設名	観光交流施設きらめきファクトリー	施設所管課	商工観光課
指定管理者名	富田林産業文化芸術連携体		
指定期間(年度)	平成30年度 ~ 令和4年度	評価対象年度	令和 3 年度

①評価の実施方法

・以下の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告等を基に担当課が評価を行う。

②評価基準

・a～dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

	自己	担当課	
基本方針等	1 管理運営の基本方針に沿った運営がなされている。	b	a
	2 地域の人材、企業の活用等、地域活性化に寄与している。	b	b
	3 地域との交流が図られている。	b	b
行動規範	4 コンプライアンスの体制が十分である。	b	b
	5 施設利用における利用者の平等な利用が確保されている。	a	a
	6 個人情報保護について、十分な対策が取られている。	b	b
利用促進・利用者満足度の向上	7 利用実績(利用者数・利用率等)が要求水準に達している。	d	c
	8 利用促進策・利用者満足度向上策が、実施計画通り実行されている。	b	b
	9 苦情への対応が適切である。	b	b
	10 利用者意見の把握が、積極的に行われている。	b	b
	11 収集した利用者意見を事業に生かすしくみとなっている	b	b
自主事業	12 自主事業の規模が適正である。	b	a
	13 自主事業の実施状況が適切である。	d	c
収支計画	14 利用料金収入が、年度収支計画の予算額を達成している。	d	c
	15 本社経費を除く支出が、年度収支計画の予算額に比して妥当である。	d	c
	16 年度収支計画と比較して本社経費が妥当である。	a	a
人員配置計画	17 人員配置(人数、有資格者)について、提案時に示された水準が守られている。	a	a
人材育成の考え方及び研修計画	18 人材育成方針及び研修計画に沿った研修が実施されている。	b	b
危機管理策	19 非常時の対応について必要な対策が講じられている。	a	a
日常の安全管理	20 日常点検などにより施設の安全確保の対策が講じられている。	b	b
	21 修繕が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	b	a
	22 備品の管理が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	b	a
	23 外部委託した業務の点検等が行われている。	b	b

	自己	担当課	
その他	24 観光資源の開発および魅力発信事業実施回数が要求水準に達している。	d	c
	25 地元産品等の売上が要求水準に達している。	d	c

④改善要求点(3年目評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア	改善指導要求無し	
イ		
ウ		

⑤評価者コメント

指定管理者	昨年度に続き、今年度もコロナ禍に影響された1年でした。昨年より多い新型コロナ感染者数拡大の影響により、来館者数をはじめ、貸館利用者数、物販売上げなどは大幅な減少傾向でした。そういった状況の中、当初計画にはなかった「富田林ブランドカーニバル」を実施。コロナ第5波が落ち着き、購買意欲も生まれる年末を狙い、売上げの落ちている事業者様のサポートも踏まえて開催。2日間で年間売上げの10%以上、来館者数も通常時1日平均44人のところ、期間中2日間で約1,000人を記録。最終的に実施計画は未達成とはなりましたが、昨年同程度の実績を維持することができました。
施設所管課	令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を強く受け、実施計画に沿った事業実施が難しい年度でした。感染者数は前年度を大きく上回り、来館者数や地元産品の売上げが大きく下回る中、ブランドカーニバルの実施など指定管理者の柔軟な対応により、決算では前年度水準まで戻すことができました。指定管理者評価では、数値目標に対して「d」と評価している項目が5項目ありますが、以上の理由から担当課としてはすべて「c」評価としています。次年度以降は、指定管理者と協議し、新たな情報発信に向けた施策を検討してまいります。

[参考]

1. 実績値(直近3ヶ年)

	令和 元 年度		令和 2 年度		令和 3 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	22,383	21,710	22,571	20,318	22,758	22,393
利用料金	330	280	363	172	240	159

2. 要求事項

年間利用者数	
要求水準	30,000 人
目 標	21,450 人
実 績	15,766 人

→③評価項目7と関連

観光資源の開発および魅力発信事業イベント実施回数(年間)	
要求水準	30 回
目 標	28 回
実 績	25 回

→③評価項目24と関連

地元産品等の売上げ向上(対27・28年度平均比10%増)	
要求水準	2,300,000 円
目 標	1,500,000 円
実 績	1,464,800 円

→③評価項目25と関連

●指定管理者業務評価シート(4年目評価)

施設名	富田林市民プール	施設所管課	生涯学習課
指定管理者名	オーエンスグループ共同事業体		
指定期間(年度)	平成30年度 ~ 令和4年度	評価対象年度	令和 3 年度

①評価の実施方法

・以下の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告等を基に担当課が評価を行う。

②評価基準

・a～dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針等	1 管理運営の基本方針に沿った運営がなされている。	b	b
	2 地域の人材、企業の活用等、地域活性化に寄与している。	/	/
	3 地域との交流が図られている。	/	/
行動規範	4 コンプライアンスの体制が十分である。	b	b
	5 施設利用における利用者の平等な利用が確保されている。	/	/
	6 個人情報保護について、十分な対策が取られている。	b	b
利用促進・利用者満足度の向上	7 利用実績(利用者数・利用率等)が要求水準に達している。	/	/
	8 利用促進策・利用者満足度向上策が、実施計画通り実行されている。	/	/
	9 苦情への対応が適切である。	b	b
	10 利用者意見の把握が、積極的に行われている。	/	/
	11 収集した利用者意見を事業に生かすしくみとなっている	/	/
自主事業	12 自主事業の規模が適正である。	/	/
	13 自主事業の実施状況が適切である。	/	/
収支計画	14 利用料金収入が、年度収支計画の予算額を達成している。	/	/
	15 本社経費を除く支出が、年度収支計画の予算額に比して妥当である。	a	a
	16 年度収支計画と比較して本社経費が妥当である。	a	a
人員配置計画	17 人員配置(人数、有資格者)について、提案時に示された水準が守られている。	/	/
人材育成の考え方及び研修計画	18 人材育成方針及び研修計画に沿った研修が実施されている。	/	/
危機管理策	19 非常時の対応について必要な対策が講じられている。	/	/
日常の安全管理	20 日常点検などにより施設の安全確保の対策が講じられている。	b	b
	21 修繕が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	a	a
	22 備品の管理が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	b	b
	23 外部委託した業務の点検等が行われている。	a	a

④改善要求点(3年目評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア	改善要求点なし	-
イ	改善要求点なし	-
ウ	改善要求点なし	-

⑤評価者コメント

指定管理者	・令和3年度は、当施設がリニューアルオープンし7年目(第2期4年目)となりますが、令和3年度も昨年度同様に新型コロナウイルス感染対策に伴い、営業を行わず閉場となりました。その為、次年度に向けて施設維持管理業務を行い、必要な点検・修繕を行いました。 ・次年度に向けて新型コロナウイルス感染が終息しない可能性もありますが、開場できる様に消毒・入場制限・感染防止対策など考えられる課題を見つけ、利用して頂く皆様と共有できる対策を講じていきたいと考えております。
施設所管課	新型コロナウイルス感染予防のため令和3年度においては休場となったが、検討段階中には、開場となった場合の運営方法を複数パターン用意する、また、他市町村の開場状況参考に危機管理面を十分に考慮するなど、利用者の安全に関して熟慮する姿勢が窺えた。また、昨年に引き続き、施設の近隣町会である桜ヶ丘町会の行事の際に施設を駐車場として開放し、近隣住民からの草刈りの要望に応えるなど、地域との交流を図ろうとする姿勢も見られ、全体として評価できる結果となった。

[参考]

1. 実績値(直近3ヶ年)

	【千円】					
	令和 元 年度		令和 2 年度		令和 3 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	16,800	16,800	16,972	5,160	3,674	3,674
利用料金	2,500	2,773	2,500	0	0	0

2. 要求事項

利用者数 (※自主事業として開場する期間を除く)	
要求水準	-
目標	-
実績	-

→③評価項目7と相互

●指定管理者業務評価シート(2年目評価)

施設名	富田林寺内町4施設	施設所管課	文化財課
指定管理者名	株式会社アスウェル		
指定期間(年度)	令和2年度 ~ 令和4年度	評価対象年度	令和 3 年度

①評価の実施方法

・以下の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告等を基に担当課が評価を行う。

②評価基準

・a～dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針等	1 管理運営の基本方針に沿った運営がなされている。	b	b
	2 地域の人材、企業の活用等、地域活性化に寄与している。	b	b
	3 地域との交流が図られている。	c	c
行動規範	4 コンプライアンスの体制が十分である。	b	b
	5 施設利用における利用者の平等な利用が確保されている。	a	a
	6 個人情報保護について、十分な対策が取られている。	b	b
利用促進・利用者満足度の向上	7 利用実績(利用者数・利用率等)が要求水準に達している。	a	a
	8 利用促進策・利用者満足度向上策が、実施計画通り実行されている。	b	b
	9 苦情への対応が適切である。	b	b
	10 利用者意見の把握が、積極的に行われている。	b	b
	11 収集した利用者意見を事業に生かすしくみとなっている	a	b
自主事業	12 自主事業の規模が適正である。	a	a
	13 自主事業の実施状況が適切である。	d	d
収支計画	14 利用料金収入が、年度収支計画の予算額を達成している。	d	d
	15 本経費を除く支出が、年度収支計画の予算額に比して妥当である。	d	d
	16 年度収支計画と比較して本経費が妥当である。	d	d
人員配置計画	17 人員配置(人数、有資格者)について、提案時に示された水準が守られている。	a	b
人材育成の考え方及び研修計画	18 人材育成方針及び研修計画に沿った研修が実施されている。	b	a
危機管理策	19 非常時の対応について必要な対策が講じられている。	b	b
日常の安全管理	20 日常点検などにより施設の安全確保の対策が講じられている。	b	b
	21 修繕が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	a	b
	22 備品の管理が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	b	b
	23 外部委託した業務の点検等が行われている。	b	b

		自己	担当課
その他	24 ホームページ年間アクセスカウント数が要求水準に達している。	b	b
	25 歴史・文化等に関する普及啓発事業の年間実施回数が要求水準に達している。	b	b

④改善要求点(初年度評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア	地域の人材や企業と積極的な連携を図り、アドバイザースタッフなどを活用した継続的な事業展開に取り組まれない。	連携・協働への取り組みとして、企業による講演会や、地元団体からの資料提供による展示の開催、保存会との連携協力による事業が開催されるなど、初年度と比較すると連携が図られていると評価できるが、1回限りの開催となっている。今後は、更なる連携と継続的な事業展開を期待する。
イ	文化財の保全など、業務に係る法令や諸規定などについて、コンプライアンスの徹底に取り組む。適切な人員配置、職員の育成、意識の向上を図られたい。	初年度は、関係法令の認識不足による改善を要する点が確認されたが、知識習得研修の回数を増やすことでより理解を深めるなど、コンプライアンスの意識向上に努められている。人員配置については、一部計画時の水準が満たされないこともあったが、管理スタッフの増員により、臨機応変な対応を図ったことは評価できる。
ウ	利用促進・利用者満足度の向上策として、集約した意見を事業に活かす仕組みを構築し、4施設本来の目的に沿ったターゲットングを行い効果的な事業展開を図られたい。	ホームページでのご意見や、アンケートによる利用者の意見について、職員ミーティングを行い改善策を講じ、特に多い意見や重要な意見については公表・掲示を行うといった仕組みを構築されている。各施設ごとに設置目的に沿ったイベントが開催されており、今後も更なる効果的な事業展開を図られたい。

⑤評価者コメント

指定管理者	4月25日から6月20日まで新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言発出により閉館となっていましたが、初年度とは異なりイベントの準備もスムーズに行えました。来館者数につきましては目標を上回り、利用料収入などは計画を下回る結果となりましたが、コロナ禍の中でもイベントに参加された方からは多くの満足の声をいただきました。なお、新型コロナ感染の危機対応として当日のイベントを中止・延期したケースが1件ありました。大事には至らず、職員一致で即時対応できたことは危機管理の意識が高まっていることの確認となりました。
施設所管課	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用料金収入は予算額に達しなかったが、施設入館者数の目標は、コロナ禍を踏まえた数値ではあるが目標に達した。また、保存会「富田林寺内町をまもり・そだてる会」との連携協力により伝統的建造物の見学ツアーといった地元の協力がなければ開催できない事業が実施され、今後もより一層の連携協力が期待される。コロナ禍において感染症対策を図りながら積極的に事業を開催したことやSNS等で積極的に情報発信したことで、HPのアクセスカウント数や普及啓発事業の実施回数が要求水準に達したことは評価できる。

【参考】

1. 実績値(直近3ヶ年)	【千円】					
	令和 元 年度		令和 2 年度		令和 3 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	5,571	5,571	31,606	31,606	31,135	31,135
利用料金	0	0	3,300	1,832	3,009	2,530

2. 要求事項

じないまち交流館 年間入館者数	
要求水準	30,000 人以上
目 標	12,000 人以上
実 績	12,732 人以上

➡③評価項目7と相関

重要文化財旧杉山家住宅 年間入館者数

要求水準	9,000	人以上
目 標	5,000	人以上
実 績	6,518	人以上

➡③評価項目7と相関

ホームページ年間アクセスカウント数

要求水準	1,200	回以上
目 標	30,000	回以上
実 績	65,554	回以上

➡③評価項目24と相関

歴史・文化等に関する普及啓発事業の年間実施回数

要求水準	6	回以上
目 標	12	回以上
実 績	14	回以上

➡③評価項目25と相関